

日本民主党と中国共産党の交流・協力に関する覚書

中国共産党の招待に応じ、輿石東民主党幹事長・日中（民主党・中国共産党）「交流協議機構」会長を団長とする日本民主党代表団は2012年3月23日から25日まで中華人民共和国を訪問した。同代表団は、王家瑞中国共産党中央対外連絡部長を団長とする中国共産党代表団との間で日中「交流協議機構」第四回会議を開催した。

双方は、東日本大震災から1周年を迎えた今日、その犠牲者に対し、改めて深い哀悼の意を表明し、震災からの復興において、両国が協力することの重要性を確認した。民主党側から、中国からの励ましと支援に謝意を示した。

双方は、両党間の友好交流と協力関係は、日中関係の重要な構成部分であり、「交流協議機構」は、設立以来、日中間の政治的相互信頼の増進、及び日中の戦略的互惠関係の推進の上で、積極的かつ重要な役割を果たしているとの認識で一致した。なお、今回輿石東幹事長を団長とする民主党代表団の訪中、及び両党「交流協議機構」第四回会議の開催は、日中関係の健全で安定的な発展に寄与するものとの認識を共有した。

双方は、1972年9月の日中国交正常化以降の40年間、日中関係が飛躍的に発展し、大きな成果を収めていることを積極的に評価した。また、両国がこれまでにないほど緊密な相互依存関係にある一方、様々な課題も存在しているとの認識を共有した。

双方は、国際・地域情勢が複雑に変化している中、日中両国は重要な影響力を有する国として、地域やグローバルな様々な課題に対し、重要な責任を負っているとの認識で一致した。また、両党が友好交流・協力関係を強化・深化することは、日中関係を更なる高いレベルへと発展させ、アジアや世界の平和・安定・繁栄に寄与するためにもプラスとなるとの認識を共有した。

双方は、歴史を鑑とし、未来に向けて、日中国交正常化40周年を祝うための記念行事を積極的に推進し、政治的相互信頼の増進、「戦略的互惠関係」の一層の深化、両国国民感情の改善、日中関係の長期的かつ健全な発展のために、共に尽力していくことで一致した。

上記に鑑みて、日中両党は、「日中共同声明」をはじめとする4つの政治文書の諸原則と精神を踏まえ、以下の面において、交流・協力関係を一層深化していく。

- 一、 両党間のハイレベルでの相互訪問と対話のよい伝統を守り、国際・地域情勢及び両国関係に関わる問題をめぐって、タイムリーに意見交換を行い、戦略的な意思疎通を密にし、「戦略的互惠関係」の健全かつ安定した発展を促進する。中国共産党は、日本民主党の歴代代表の訪中を歓迎する。
- 二、 両党「交流協議機構」の強化を図り、定期的に両党「交流協議機構」会議を開催し、共に関心を持つ両国間の諸問題、地域・国際問題をめぐって対話と協力を強め、両党の政策面での交流や政権運営における経験の交

流を深め、両国間の政治的相互信頼を増進させる。①両党の若手幹部の交流プログラムを設立し、中国共産党側は毎年民主党若手政治家 15 名を招待し、民主党側は中国共産党若手幹部 1 名の日本留学を実施する。②重大事件や突発事故が発生する時、両党の国際担当部門責任者が電話会談や実務訪問等の形で早急かつ効率的に意思疎通を実現する為にも、両党間でホットラインを設立する。

三、両国の各分野における協力を促進する。両国の地方、企業及び民間組織間の交流事業を推進し、経済、省エネ、環境、防災、風評被害対策を含む震災復興支援、金融、ハイテク、知財、観光、中小企業協力等の分野における協力を重点的に推進する。また、東シナ海を「平和・協力・友好の海」とするため、東シナ海資源開発などの具体的な協力を前進させる。

四、日中の人的・文化交流を拡大し、相互理解を促進する。政党間ルートを通して、両国間の人的・文化交流、民間交流、青少年交流を推進する。中国共産党は、日本民主党による長城計画友好交流使節団の引き続きの訪中を歓迎すると共に、積極的に中堅幹部や青少年の訪日を推進する。両党は、各自のウェブサイト等のメディアに日中関係に関するコラムを新設し、日中関係、両党交流、相手国の事情、友好交流の実例等を定期的に掲載する。両党は、適宜合同世論調査を行い、両国の国民感情の現状や問題点を把握し、その解決方法を探す。

五、民主党側は、中国共産党代表団の訪日を招請した。中国共産党側は、民主党側の招請に謝意を表すると共に、早期訪日の実現や、日本での両党「交流協議機構」第五回会議の開催への期待を表明した。

六、本党書の実行に関する詳細に関しては、両党の実務部門でこれを仕上げる。

七、本党書に明記されていない両党間交流協力の関連事項に関しては、双方は、別途協議し、これを決定する。

八、本党書の修正及び補足に関しては、双方の合意の下でこれを行う。

九、本党書は、署名の日から発効する。

本党書は、2012年3月24日に北京において、等しく正文である日本語及び中国語により本書二通を作成した。二通は、同じ効力を持つ。

日本民主党と中国共産党
交流協議機構
日本側会長

日本民主党と中国共産党
交流協議機構
中国側会長

輿石東

王家瑞